



東北小だより

開校57年目

新座市北野3-1-1 TEL 048-471-2022
HP <https://e-tohoku-c-niiza.edumap.jp/>

～学校教育目標～
なかよく元気な子
よく考える子
すすんで働く子

令和7年度7月号
全児童数 788名



一人一人が輝くひまわりのように

～ 美しく 温かく 常に前進 東北小学校 ～

校長 斉藤 直之

暑い日が増えてきました。夏休みも気になる時期となってきました。

さて、「夏休み」といって皆さんは、何を思い浮かべるでしょうか。もちろん、世代や出身地によっても違いはあるでしょうが、人それぞれ思い出は、あるものだと思います。

わたしは、出身が茨城県でしたので、周りには、自然が多くありました。すぐ近所には、沼や川があり、田んぼの側溝には、おたまじゃくしがたくさんいる。そんな田舎で幼少期を過ごしていました。夏も暑く、毎日、びしょり汗をかいて生活していたものです。

もちろん、今のようにエアコンはありませんから、遊んで家に帰ると、扇風機の前を兄弟で取り合いをしていました。

ゲームもない時代ですから、やることもなく、日々、外を眺めていることも自然と多くなりました。

そのような中、暇なときは、いつも庭に咲いているひまわりを眺めることが日課となりました。ひまわりの姿は、何とも言えない、力強さがあり、見ているだけで元気がわいてくる気がして、最初は、ただぼーっと見ていることが好きでだけでした。

すると、ある時から、ひまわりの観察をするようになっていました。まずは、花がどうして、みんな同じ方向を向いているのか、疑問に思ったことからのスタートです。何日かして、親にも聞いてみましたが、何も教えてもらえませんでした。そこで、仕方なく、自分で観察を始めることにしました。見ているだけでは、さすがにひまわりの特徴など、つかめるはずもなく、次に、図書館に行きました。花の図鑑を見ると、花の種類や、開花時期の情報くらいしかありません。ど

うしたものか、と考えた挙句、思い切って、図書館の職員の方に聞きました。とても親切な方で、何冊もの本を持ってきてくれました。本によって、様々な情報があり、夢中になって、ノートにメモをとったのを覚えています。

そして、家に帰ると母親から、「調べたことを夏休みの研究としてまとめてみたら」と何気なく言われ、その言葉を聞いた私は、レポート用紙にまとめて、2学期の始業式の日学校にもっていきました。何か賞をもらうような立派な研究ではありませんでしたが、自分の疑問を出発点にして、まとめる。こういった一連の研究は、初めての経験であり、達成感が大きいものとなりました。

私は、その経験が今の自分の考え方に深くつながっていると、自分を振り返るときの分岐点として、いつもこのことを思い出します。

また、このことを通して多くのことを学びました。疑問に思ったことは、自分で調べること。分からなければ、人に聞くこと。そして、自分でやり通したことは、大きな達成感につながることで等です。私は今でも、こういった気持ちを忘れないよう、努めています。

ひまわりの花は大きな一輪の花が咲いているように見えますが、実は、たくさんの花が集まったものです。子供たちの一つ一つの経験の集合体が大きな花となるならば、今年の夏の体験は、大きな花への欠かすことのできない一つとなるのではないのでしょうか。

末筆になりますが、この1学期の期間において、保護者、地域の皆様には、学校の教育活動へのご理解とご協力をいただきましたことに、感謝申し上げます。

ありがとうございました。